

# 相談支援従事者指導者養成研修

## ケアマネジメント基礎コース

令和3年9月16日（午後）

### 講義【初任者研修のニーズ整理票の導入について】

長野県 上小圏域基幹相談支援センター  
所長 橋詰 正

#### 本日の演習シート

研修資料⑤ アセスメントのためのフォーマット(2)					
インテイク(情報の収集・整理)		アセスメント(評価)		プランニング(支援計画策定)	
情報 (見たこと、聴いたこと、データなど)		理解・解釈・仮説 (わかったこと、解釈・推測したこと)		支援課題 (支援の必要なこと)	
		生物的なこと (疾患や障害、発達の遅れ・偏りなど)		①	
				②	
		心理的なこと (不安、葛藤、希望、自己感、認知、 内省性、感情統制、防衛機制など)		③	
	本人に ついて			④	
				⑤	
		社会性・対人関係の特徴		⑥	
				⑦	
		家族		⑧	
	環境に ついて	学校・職場			
		友人・近隣など			

# アセスメントとは (1)

## 【定義】

本人の夢・希望の実現や課題の解決に向け、  
必要な根拠(情報)をおさえ(収集し)、整理・分析する。

## 【具体的には】

- 例
- ・ 本人の人となり
  - ・ 本人の夢・希望、解決したい課題。
  - ・ それに向けて必要な状況把握  
(本人や環境に関する多角的・総合的な情報)
  - ・ 支援者自身の考え、本人像の解釈、支援の方向性
  - ・ そのための手立て

情報を集めるだけじゃないんだ！

どんな情報をとればいいのか？

情報の分析?????

# アセスメントとは (2)

## (1) 情報の収集

「なんでそんなこときくの？」に答えられる質問ですか？

**本人のゴール・解決したい課題に向け必要な情報を得る。**

## (2) ニーズ整理

ヒトの頭の中では、これらが同時並行的に情報処理(認知・判断)されているよ！

- ・ **援助者(自分)の判断の根拠**を可視化、言語化する。
- ・ 本人の意思、客観的状況、支援者や周囲の判断を分けて整理する。 † 基本原則: 本人の言葉や意思・選好からはじまる。

◎前提となる、相談支援の目的と基本的視点は不変

アセスメント票は…  
整理・分析の補助をするための可視化ツール  
偏ったみかたにならないように「鳥の目」の効果  
票の網羅がアセスメントではない！  
ツールは多種多様です。道具選びと使いこなし！

インテーク  
情報の収集

ニーズ整理  
情報の整理・分析

広義のアセスメント

参考：総合的・多角的なアセスメントの枠組み例（厚生労働省ケアガイドライン）

一次アセスメント票		受付No.	作成者氏名	作成日
よりおな 氏名	性別	住所	(〒 - )	
生年月日	歳	連絡先		
本人の要望・希望する暮らし、困っていること・解決したいこと				
<b>ここからはじまる。ここを一緒に作り出す。</b>				
家族の要望・希望する暮らし、困っていること・解決したいこと				
希望する一日の流れ				
本人 時 6 9 12 15 18 21 24 3				
生活状況(普通の1日の流れ)				
本人 時 6 9 12 15 18 21 24 3				
【その他の1日の生活の流れ】 ※いくつかの1日の生活があれば、別紙に記入				
本人 時 6 9 12 15 18 21 24 3				
本人の概要				
生活歴(病歴含む)				
【過去(これまで)】も大事です。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように暮らしてきたか。</li> <li>・どのような経験をしているか。</li> <li>・どう育ち、どのような価値観をもっているか。など</li> <li>※ひとりひとりの物語があります。(ライフヒストリー、ライフストーリー)</li> <li>※いきなりは聞きにくいですが、本人様の理解にも役立ちます。</li> </ul>				
【ジェノグラム】		【エコマップ】		
パツと書けるようにしましょう。		【人間関係】【社会とのつながり】を幅広く捉えます。		
書き方の本はたくさんでています。		※本人にとっての「地域」とはなにをかをつかみます。		

利用者の状況	状況・意思		支援者の気づき	
	現状	本人の希望	本人の嗜好	記入者 (記入者以外(専門的アセスメントを含む))
1 生活形態・日常生活に関する領域				
2 社会参加に関する領域(教育、就労を含む)				
3 コミュニケーションや意思決定、社会生活技能に関する領域				
4 日常生活に関する領域				
5 健康に関する領域				
6 家族支援に関する領域 ※必要に応じて加除する。				

**客観的事実やデータ**

本人の希望  
本人の嗜好  
本人の(推定)意思

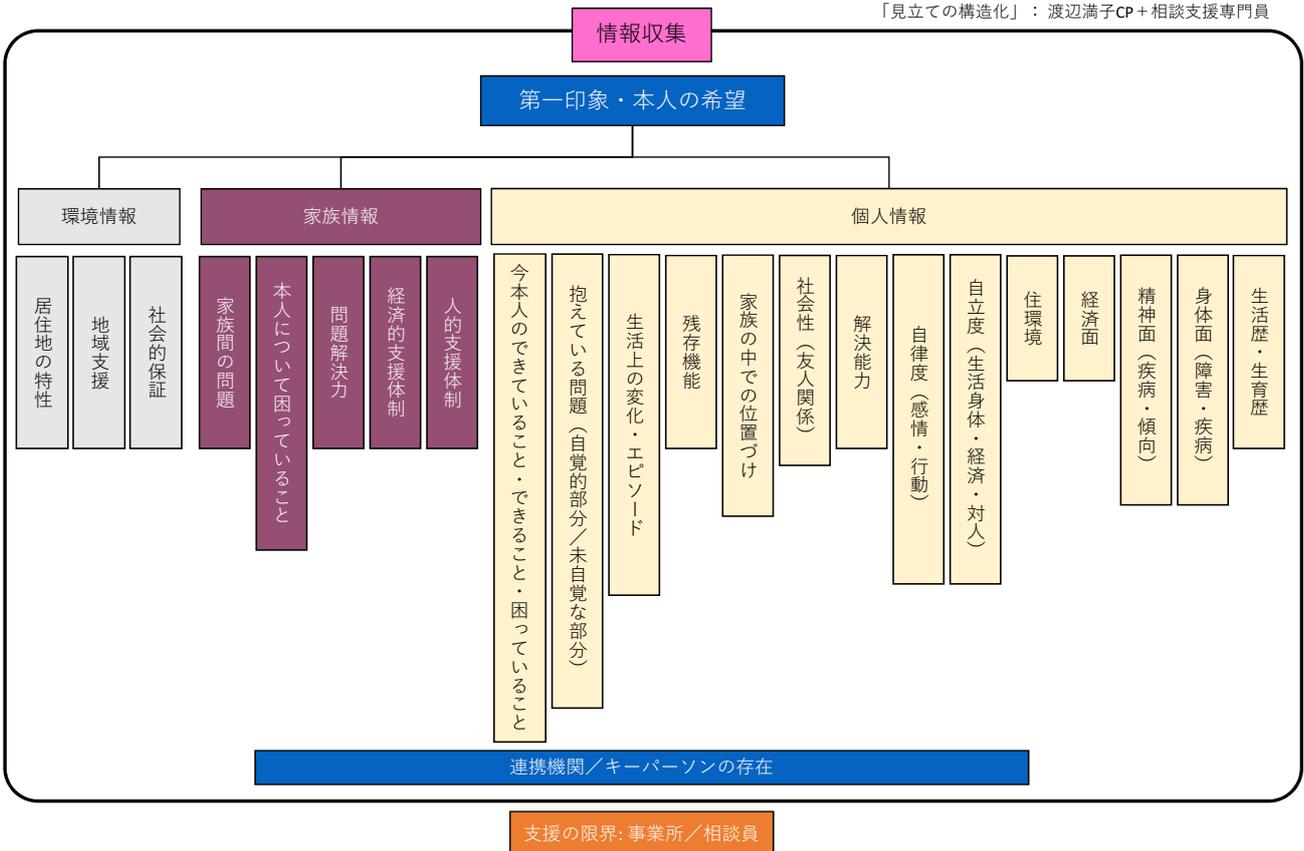
他者の解釈が介入

意図をもって集めた情報を整理します。(情報の取捨選択から整理と分析です。)

- ・多角的な検討や必要な視点が落ちていないかの確認に有効です。
- ・網羅すること(埋めること)がいいアセスメントではありません(あまりに聞けていないのも困るが)。

参考：総合的・多角的なアセスメントの枠組み例（見立ての構造化）

「見立ての構造化」：渡辺満子CP+相談支援専門員



# インタビュー・アセスメントの留意点

## 【情報の収集の留意点】 相談面接技術が大きく影響すると心得る！

- ① 表出された言葉や意思、選好の意味や背景を探る問いを多様に用意する。
  - ② 多様な手段や情報源を活用する。
    - ・ 面接（言語・非言語）
    - ・ 経験の共有（見学、同行、体験等）
    - ・ 周囲からの情報収集など
- 本人の言葉の背景・真意を理解する。  
→ その前提となる本人像を多角的に捉える。

## 【復習】

情報保障や意思疎通に支援が必要な利用者があることに留意する。

# ニーズ整理の留意点

## ① 「見立て」ができるようになるろう。

支援者自身が

- a. どのような情報を得て、
- b. どのような解釈をし、
- c. どのような方針をたてるか。

普段自分のアタマの中で、同時並行処理していることを…可視化し、整理する

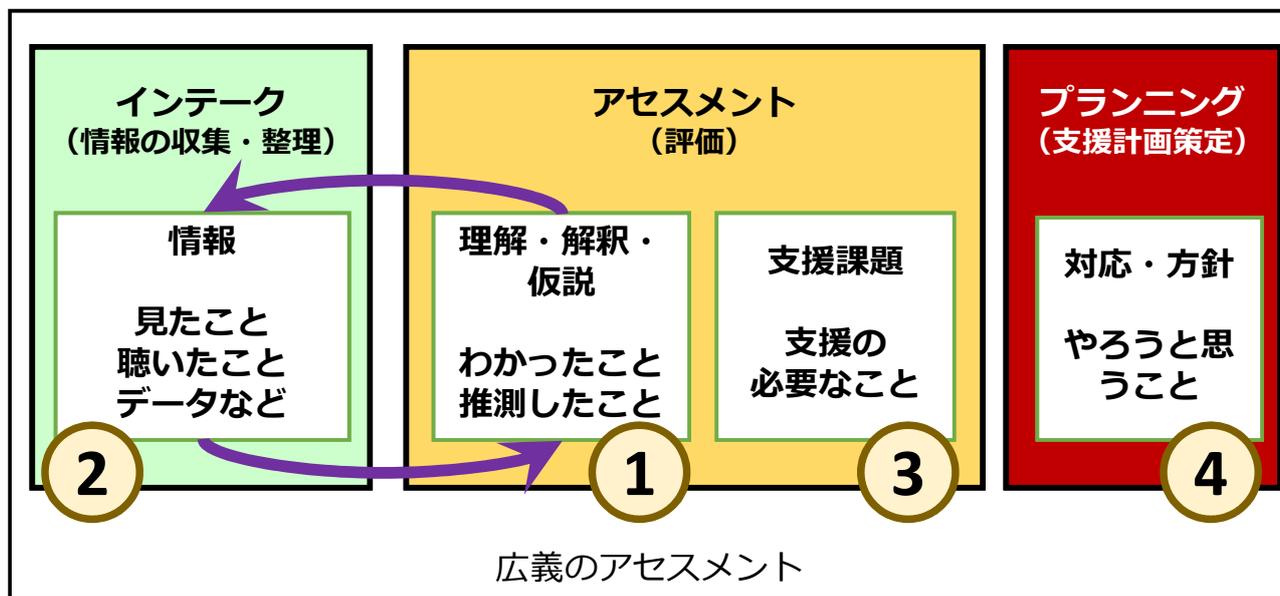
## ② アタマの中を整理できるようになるろう。

- ・ 事実 本人の意思、客観的事実
- ・ 自分の考え 自分の解釈  
自分の支援方針

## ③ 「手だて（プランニング）」は一旦置いておこう。

本人の言葉・本人の（深めた）理解から始める。  
対応から入らない。

# ニーズ整理の方法 (1)



近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック【第2版】』(明石書店)を改変

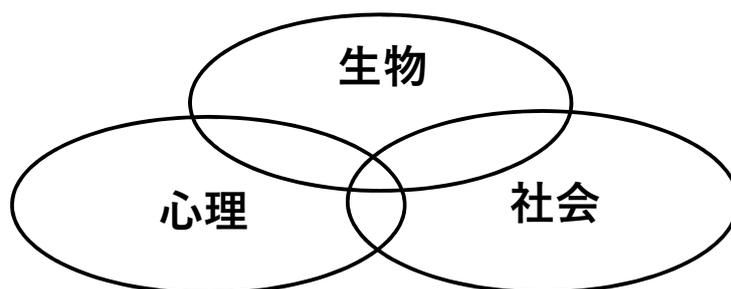
令和元年度相談支援従事者指導者養成研修 配布資料抜粋

9

令和元年度相談支援従事者指導者養成研修 配布資料抜粋

## 生物心理社会モデル (Bio-Psycho-Social Model)

人を多角的・多面的に捉える視点のひとつ



○生物: 生来的気質、発達、障害、疾患など

○心理: 不安、葛藤、希望、自己感、認知、内省性、感情統制、防衛機制など

○社会: 対人関係の特徴や適応、社会関係など

### WHOの「健康」の定義

『健康とは、肉体的、精神的及び社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない』

近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック【第2版】』(明石書店)を改変

# ニーズ整理の方法 (3)



近藤直司

『医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック【第2版】』(明石書店)を改変

令和元年度相談支援従事者指導者養成研修 配布資料抜粋

## 初任者研修で標準化した演習シート

【演習1】ワークシート3 ニーズ整理票

インテーク		アセスメント		プランニング	
情報の整理 (見たこと、聞いたこと、データなど：事実)		理解・解釈・仮説 (作成者のとらえたかた、解釈・推測)	理解・解釈・仮説② (専門的アセスメントや他者の解釈・推測)	支援課題 (支援が必要と作成者が思うこと)	対応・方針 (作成者がやろうと思うこと)
本人の表明している希望・解決したい課題	(作成者の)おさえておきたい情報	本人			
1	3	2		4	5
		環境			

今回大づかみに捉えた本人像(100文字程度で要約する)

# 初任者研修で大切な アセスメントの可視化ツールの導入

- 標準化カリキュラムの意図  
(質の向上に向けた研修カリキュラムの変更の経過の理解)
- 都道府県ツールとの比較・共有化  
(アセスメントからニーズ整理までの思考の視覚化により、真のニーズや見立ての仮設の根拠を示す研修ツールとなっているかの自己点検をお願いします！)
- 研修全体の構造と流れの再確認  
(役割分担型のその日のコマの企画の張り合わせではない)
- 最終的にねらう相談支援の質の向上に向けた研修の入口  
(構造化された研修システム：初任⇒現任⇒主任への流れの中で、最初に受講するのが初任者研修である。)